

あかつき

上林 曉 先生 に 学 ぶ

― 田ノ口小学校六年生の授業から ―

宮川 昭 男

一、はじめに

教職生活最後の五年間、上林 曉の母校田ノ口小学校に勤務させていただいたことは、上林さんを敬慕する私にとって、誠に幸甚なことであった。

赴任した最初の年、貴重な地域教材である、校門の近くに建つ上林さんの「努力の碑」を教材化したいと思い、六年担任に相談し、四時間ほどもらって、六年生に授業させてもらうことにした。

◇田ノ口小学校の卒業生である上林 曉先生から郷土愛や人間愛、努力の大切さなどを学ぼう。

◇田ノ口小学校が舞台になっている『薔薇盗人』を読み味わおう。

という目標を立て、碑や作品のこと、睦子さんの献身のことなどを中心に取り組んだのだが、子どもたちは、乾いた砂が水を吸い取るように、上林さんの人と作品のすばらしさについて素直に受け入れてくれた

ことに感動したことであった。この年の夏休みの自由研究に、「上林 曉先生の一生と作品、碑」というテーマで取り組み、立派な研究レポートを作成した子もいた。

現職の時五年間、同じような授業をし、退職後も、清家校長と六年担任の厚意で、継続させてもらっている。同じ六年生でもさまざまな違いがあり、毎年変化があってもおもしろい。また、上林さんの作品には汲めども尽きぬ深い味わいがあり、取り組みたびに新しい発見がある。昨年まで九年間の感想の二部を紹介してみよう。

二、授業の感想

『薔薇盗人』の感想

○学校のばらをぬすむのはいけないことだけど、妹の由美江にあげようと思ってぬすんだ仙一の心は、や

さしさであふれていたと思う。仙一が帰った時、喜八はぞうりをあんでいた。そこで私は、喜八のやさしさを心にしみるように感じた。

○この本は、目で追って読み始めたら、ひきこまれていく感じだった。終わりの文章のところで、喜八のやさしさが表れていると思った。はじめ、すぐおこっていたから最後はよいやさしく見える。

○ばらの花をぬすんだ仙一は、複雑な気持ちやつたと思う。妹は喜んだと書いていたけど、おにぎりにはかなわんと書いていて、おもしろいと思った。「いもうてねよ。」と言われた時は、じんわりきたと思う。

『授業全体の感想』

○ 曉先生は、亡くなる四日前まで左手で小説を書いたり、言うのを睦子さんに書いてもらったりして、すごいと思う。睦子さんも、十八年間で看病して二人ともえらい兄妹だと、校長先生の話を聞いて思った。

○ 宮川先生が、上林先生の作品はどれも、どこかあたたかみがあると聞いた。ほんとうにそうだと思う。『ばら盗人』は、さびしい、暗い話だった。でも、なんとなくあたたかみがあるように感じた。ふしぎな感じがした。ねたきりのままで、くじけず、まげず、一生けん命本を書いたということは、ほこりに思わないかと思う。今まで意味もわからないまま、碑のまわりを遊んでいたことに、はすかしい思いがした。

○ 上林先生はすごい人だということがわかった。文部大臣賞などすごい賞をもらっている。でも、入学二日目で仮病を使ったという話を聞いて、先生もけっこうへんな所があるんだなあと感じて、おかしかった。努力の碑も、曉先生の碑というのを知っておどろいた。宮川校長先生が、あの碑のあることはわが校のほこりです、といっていた。二、三年の頃、田ノ口小のほこりにのつたことがあると思うと、なんだか笑えてきた。





大方あかつき館開館記念応募作品より

《感想文》

努力の人上林晩先生 六年 川村 勲

田ノ口小学校の校門のそばに、「努力の碑」と書かれた碑がたてられている。碑の横には、「上林晩先生を讃えて」と書かれている。上林先生は、私達の学校の大正三年度の卒業生で、私達の大先輩である。

六年生になり、上林先生の勉強を校長先生とした時、上林先生が努力の人だということを知った。ぼくは、その勉強のあとにも、「薔薇盗人」を何度も読んだ。「薔薇盗人」は、私達の学校、田ノ口小学校のことが書かれている。

仙一は、貧しい家に生まれた。妹のために、学校の門に咲いていたたつた一本の薔薇を盗んだ。そうすれば、妹がきつとよるこぶと思つたのだ。ぼくは、たつた二本の薔薇でも、盗むのはいけないと思つた。でも、仙一の妹に対する優しい思いは許される。

父におこられて、家を飛び出した仙一だったが、家に帰つて来ると、父がしからないで、優しく迎えてくれるところ、ほつとした。家族の強いつながりが感じられる。もしかしたら、仙一と妹は、上林先生と妹の睦子さんかもしれない。

上林先生は、六十歳の時たおれて、右手右足、それに口が不自由になった。その時に、妹の睦子さんが、言葉を取り、代わりに原稿に書いていった。睦子さんがいたから、それから作品を作り続けられたと思う。仙一と妹のように、きつと二人の間にも、強いつながりがあったんだと思つた。

上林先生は、少しでも多くの作品を書くことを自分の人生と決めていたんだと思う。そうして、上林先生は、死ぬ四日前まで書き続け、一生のうちに約四百くらいの作品を書いた。だから、上林先生は、努力の人と言われていると思う。

(中略)

上林先生の勉強をして、一番心に残ったことは、たおれても妹の睦子さんの助けを借りて、努力してたくさん作品を残したところだ。ぼくも、上林先生のように、努力をしていきたいと思う。この田ノ口小学校出身の作家に日本でも有名

な上林晩先生がいたことを知って、ぼくはとてもほろりに思つた。今からも上林先生が書き残した作品をたくさん読んでいこうと思う。

三、終わりに

昨年度は、はじめてあかつき館で勉強し、「晩先生が左手で書いたほんものの原稿もあつた。すごいなあと思つた。」といった感想もあつて、現場ではんものに出会うことのだいじさを子どもたちに教えられたことだつた。同時に、上林さんの千枚を超える生原稿をはじめ、川端康成、太宰治など著名な作家からもつた数百通の葉書や封書、五千冊以上の蔵書など、貴重な資料を収蔵する上林文学館へ、地元はもとより全国から、もつともつとたくさんの方が来館し、ほんものに触れ、感動してほしいという思いが湧いてきたことであつた。

本年十月六日は、上林晩先生誕百周年に当たる。上林晩を敬愛する芥川賞作家三浦哲郎と、女優中野良子を迎えて上林晩文学賞の授賞式、講演会などの記念行事が盛大に開催される。「自らの惨苦を見据えた不撓の作家」、「故郷を愛し続けた作家」上林晩は、大方町民の大きな誇りである。上林晩先生誕百年を町民こそつてお祝いし、大方がさらなる文化の香り高い町になるよう努力していきたいものである。



大方あかつき館開館記念応募作品より

○私は、晩先生のことをちよつとしか知らなかった。でも、今は、この授業で晩先生の生涯を知っているので、すごいなあと思つた。私は、今回の授業で、努力や友達のだいじさを教えてもらったので、それを大切にしようと思う。こんな授業をしてくれて、本当にありがとうございます。

○ふるさとのことを約二百編も書き、本当にふるさとのことを愛しているのだと思つた。上林先生が田ノ口小の卒業生というのは、ちよつとうれしかった。

○宮川校長先生がおとなになつたらぜひ読んでほしいといつていた『春の坂』『ブロンズの首』『過ぎゆきの歌』『小便小僧』『聖ヨハネ病院にて』を読んでみたいと思つた。けど、今は、むずかしそうだと思つた。

八十八さいのおばあさんが、晩先生の本を四年かけてぜんぶ読んで、晩先生の好きなトマトを持って来たという話には感動した。晩先生の本を読む人は、全国にいるんだなあと思つた。

○上林先生は、とても大変な人生だつたけれど、私は、一生大好きな小説を書き続けたから、しあわせだつたのではないかなと思つた。小説を四百(随筆などは約千)編も書くなんて、すごい努力だな。ほんとうに上林先生は、努力の人だと思つた。

大方あかつき館からのお知らせ

平成14年度事業計画

上林暁文学館

●上林暁生誕100周年記念事業

—今年は、上林暁生誕100周年を記念して、いろいろな行事を行います。—

記念式典

日時：平成14年10月6日（日）—生誕日— 午後1時～

場所：大方町／大方あかつき館 レクチャーホール

〈主な行事〉

●文学賞発表・表彰 ●上林暁作品朗読

記念講演

日時：平成14年10月6日（日） 午後2時30分～4時

場所：大方町／大方あかつき館 レクチャーホール

●講師／中野良子（女優・WILL国際交流文化センター代表）

記念企画展 『上林暁と俳句』

日時：平成14年8月13日（火）～平成14年10月31日（木）

場所：大方町／大方あかつき館 上林暁文学館／展示ホール

上林暁文学賞 作品募集

●募集要項：詳細 募集要項のとおり

●募集締切：平成14年7月31日（水）当日消印有効

●審査員／三浦哲郎（作家）

〈発表・表彰〉平成14年10月6日（日）午後1時30分～
大方町／大方あかつき館 レクチャーホール

記念色紙展

日時：平成14年8月13日（火）～平成14年10月13日（日）

場所：大方町／大方あかつき館 町民ギャラリー

第7回上林暁忌俳句大会

日時：平成14年8月25日（日）午前9時30分～

場所：大方町／ふるさと総合センター

●講師／八木 健（元NHK「俳句王国」司会者）

映画上映 『あやに愛しき』（宇野重吉監督）

日時：平成14年10月6日（日）午前10時～

場所：大方町／大方あかつき館 レクチャーホール

●上林暁文学講座（会場／大方あかつき館 2階会議室）

—今年も「文学講座」を下記日程で開催します。—

日 程		講 師	演 題
7月28日（日）	13:30～15:00	森岡邦廣（幸徳秋水顕彰会会長）	「秋水は生きている」
8月18日（日）	13:30～15:00	片岡文雄（詩人、小熊秀雄賞）	「四万十川幻想」の人々
12月15日（日）	13:30～15:00	松本敏郎（上林暁顕彰会）	「上林暁と砂浜の風景」

●大方の歴史を語る会

日程：年6講座（1、3、5、7、9、11月）開催しています。

会場：大方あかつき館／2階会議室

※「文学講座」「大方の歴史を語る会」にご参加希望の方は、
大方あかつき館までお申し込み下さい。

●大方の秋まつり “心のふるさとをとりもどそう”をテーマに今年も開催します。

日時：平成14年11月9日（土）・10日（日）

場所：大方町／ふるさと総合センター

大方町立図書館

事業内容	と き	と ころ
図書館だよりの発行	毎月1回	
とつてもにちようび		
○絵本のよみきかせ	第1・2・3・5日曜日	大方あかつき館／2階和室
○ビデオ上映	第4日曜日	大方あかつき館／レクチャーホール
紙芝居づくり	毎月第1火曜日	大方あかつき館
感想画コンクール	14年12月～15年1月	大方あかつき館
人形劇「Manoj」（予定）	14年12月（予定）	大方あかつき館



生涯学習

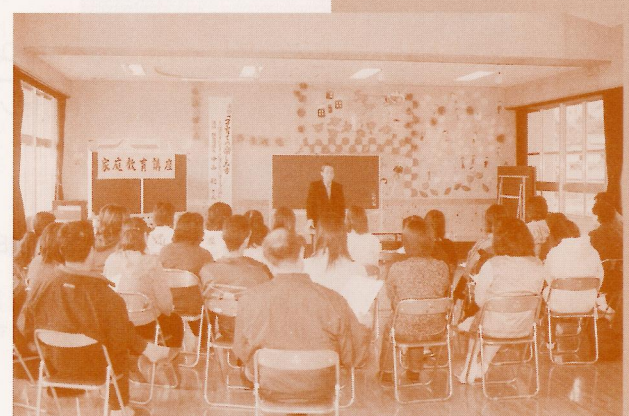
1. 青少年健全育成親子ふれあい事業
(子どもの心育て体験事業)

計画月 7月～2月

- 行事名
- ワールドクッキング
 - サイクリング教室
 - 自然体験教室
 - 人形劇
 - 新春かきぞめ大会
 - わんぱくスキー教室



2. 大方町民大学ビッグ・かれっじ21 (11月)
3. 女性講座 (9月～1月)
4. 家庭教育講座 (10月～1月)



生涯スポーツ

計画月 行事名

- | | |
|-----|---|
| 7月 | ●子ども会ソフト・キック大会
●県民スポーツフェスティバル・ソフトボール予選
●ニュースポーツ教室 |
| 8月 | ●県民スポーツフェスティバル・ゲートボール予選
●県民スポーツフェスティバル・野球予選
●幡多地区子ども会スポーツ大会
●市町村対抗球技大会 |
| 9月 | ●県民スポーツフェスティバル (9・11・12月) |
| 11月 | ●ニュースポーツ教室 |
| 12月 | ●大方少年駅伝大会 |
| 1月 | ●大方町民マラソン大会
●市町村対抗駅伝大会 |
| 2月 | ●あしずり駅伝大会
●生涯スポーツ県民会議
●バードランド周回駅伝大会 |
| 3月 | ●大方町スポーツ賞表彰式
●大方町民駅伝大会兼四国の道駅伝大会
●ジュニアバスケットボール大会 |

